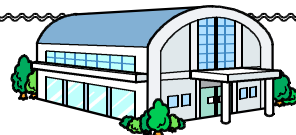


有年の空

文責 塩田 進 TEL49-2081

< 今月の俳句 >

「水筒の 氷音させ 新学期」



1学期が終わった時に、職員で子どもたちの様子を振り返りました。その中に、「友だちの名前の呼び方が、乱暴であり、そのためにトラブルや喧嘩になり、楽しく学校生活を送れないことがよくある。」という話が出ました。2学期の始業式で、子どもたちにたずねると、友だちの名前を正しく呼んでいる子は思ったより少なく、また正しく呼ばなければと思っている子も少なかったです。

呼び捨てにしないとは、「鈴木まさし」という子を例にとると、「鈴木君とか、まさし君とか、ま一君」というように、君やさんをつけて呼ぶということです。

呼び捨てにすると、「鈴木、はようボール取ってこい」とか「まさ、さっさと歩かんか」などの乱暴な言い方になり、最後には「おまえ、もういっぺんゆうてみー」となってしまう。

呼び捨てにするのは、小さい頃から知っているからとか、いつも一緒に遊んでいるからとか、親しみを感じるからとという理由で、君やさんをつけずにあだ名で呼び合うことに慣れてしまっているからではないでしょうか。

しかし、「まさ」と呼び捨てにするより、「鈴木さんとか、まさ君」と呼ぶ方がいかなる理由をつけても、一人の人間として相手を大切にしている呼び方です。

2学期のスタートに、学校全体で友だちを「呼び捨てにしない」という取り組みを進めていきますので、御家庭でもご協力をお願いします。

ふれあい美化活動

今年も夏の終わりに、多くの方々に来て頂いたので学校が美しくなりました。

暑い中、汗を流しての活動ご苦労様でした。また、施設厚生部の皆さんには、最後までお世話になりました。

学校のために、保護者の皆さんが、こんなに力をかしていただける有年小学校は、改めて恵まれた学校だと思いました。

2学期も立派な有年っ子を育てるため、教職員皆でがんばります。

< 先生からのコーナー >

今回は、5年生の 佐野 陽二 先生です

「おじいさんと草原の小学校」という映画！

この映画を上演しているところが見つからず、やっと探して、大阪の梅田へ見に行ってきました。

「壮絶な過去を乗り越え夢をつかんだ ” 84歳の小学生の奇跡 ” の実話でした。おじいさんからの人生から生きる原動力と学ぶことの大切さを教えられました。とても美しくファンタスティックな作品です。体の奥から勇気がわいてくるのが感じられ、感動しました。

映画って本当にいいものですね。

- ★ 9月になっても、暑い日が続いています。5月に、1年生が幼稚園の人たちと、沖田遺跡公園へ彼岸花を植えに行きました。植えたことがよくわかるようにと、白い花の咲く球根を選んだそうです。今年ももうすぐ、あちこちに彼岸花（しぶら）が咲きます。